

第 34 回アンケート結果 (抜粋)

一般講演 1 : 「情報システム開発プロジェクトポートフォリオ内の情報伝達特性に応じた人的資源配分機能の組織実装に関する研究」

1. ブローカー機能の左と右の違いが分からなかった。ブローカーを介する？というのが分からなかった。情報の遅延が日単位であった。計算上は、時間（分単位など）でも問題なさそうだが、50 日間のプロジェクトで、2 日間の遅延は決定的であると感じたので、多少実態に近づけても良いのではないか。研究には興味をもちました。実際のプロジェクトデータでの結果を知りたい。
A) 本モデルでは、プロジェクトマネージャー (PM) からのコミュニケーション距離に応じて、情報伝達速度が変化します。そのため、ポートフォリオ内のどの人員がブローカー機能を担うかによって、情報伝達の振る舞いに変化が生じ、最終的なポートフォリオ全体のパフォーマンスに影響を及ぼします。今後、実プロジェクトデータに合わせて、タスク数や依存関係、作業者のスキルセット、またシミュレーションの時間幅を調節し、実験した結果をご報告したいと思います。
2. 今回はシミュレーションの結果だったが、実際どこかの部署のプロジェクトに置き換えて実施（検証）する予定はあるのでしょうか？もし実施したら、ぜひ結果を知りたいです。
A) 過去の実プロジェクトポートフォリオのデータを基にケーススタディを行う予定はございます。しかしながら、進行中の実ポートフォリオに対して、シミュレーション結果をフィードバックする予定はございません。
3. プロジェクトのなかで、人は成長していくと思うので、そういった要素はどう考えているのでしょうか？
A) 同種タスクの複数回実行による生産性の向上など、作業者スキルの成長については、モデル化できておりません。作業者の生産性もポートフォリオのパフォーマンスに影響を与える重要な不確実性の一つと考えますので、今後モデル化を検討したいと思います。

以上